

# 平成26年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立熊谷商業高等学校)

(A3判横)

目指す学校像	歴史と伝統を受け継ぐとともに、先進的なビジネス教育を融合させ、地域社会をリードする人材を育成する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>開かれた学校づくりをとおして地域との連携を推進し、意欲と適性のある生徒募集に組織的に取り組む。</li> <li>基礎・基本を重視したきめ細やかな「わかる授業」を推進し、学習意欲を高め基礎学力の向上に取り組む。</li> <li>基本的な生活習慣の確立と、生徒の自主的活動の習慣化に取り組む。</li> <li>生徒の進路希望実現に対応した、継続的・体系的な進路指導に取り組む。</li> </ol>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	入学者選抜の志願者倍率は、商業科1.08倍、情報処理科0.90倍であった。本校の魅力を広く認知してもらうことが課題である。	1 学校説明会、体験入学等、広報活動を充実させる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校HPの随時更新と熊商ジャーナルを定期発行し、魅力ある情報提供を行う。</li> <li>学校説明マニュアルを作成し、統一した学校説明を基に本校の魅力をPRする。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>HPの更新、広報誌の発行回数や内容</li> <li>説明会、進学フェア等の回数</li> <li>説明は同一の視点や観点で行うことができたか。</li> <li>志願倍率(1.10倍超)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>HPがイアールは112件を更新、県立学校ニュース10号、熊商ジャーナル9号までを発行した。</li> <li>学校内部で5回、外部で7回の説明会等を実施した。</li> <li>個別面談等は、マニュアルを作成し、同一視点で実施した。</li> <li>志願状況は、商業:0.90倍、情処:0.86倍であった。(12月)</li> </ol>	B	<p>&lt;課題&gt;課題を受け、学校説明会等の回数や内容を刷新した。中学校に示すデータや生徒の活躍など、中学生が興味関心を示す事柄をタイムリーに発信する事も肝要である。中学校との連携についても、内容を吟味し、商業高校で学ぶ意義を訴えていく必要がある。</p> <p>&lt;対応策&gt;○新学習指導要領の完成年度を迎えることで、成果があった教育実践を更に中期的に行う。○地域行事に生徒を積極的に派遣し、地域の中で生徒を育成する。</p>
		2 地域との連携を強化し学校の認知度を上げ生徒募集につなげる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>まなびやを中心とする実践的職業教育を進め、生徒を積極的に派遣し、地域との連携を強化する。</li> <li>出前授業等を中心に中高連携を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>出展企業との連携</li> <li>新規商品開発(複数品目)</li> <li>地域行事への生徒参加状況(防災行事他)</li> <li>出前授業の回数</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>NP0法人、熊谷市内高校と連携した販売実習も新たに実施した。</li> <li>4地区の防災訓練を実施した。(170名の参加)吹奏楽部、バンド部も外部での発表の場が増えた。</li> <li>5校にて、4種講座を実施、商業高校の理科実験等、新たな分野にもチャレンジ、強固な連携を築いた。</li> </ol>	A	
2	生徒の学力や学習に取り組む姿勢に差が生じている。学習習慣の確立と、学習意欲の向上が課題である。	1 学習習慣の確立により学力を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>学年主体の朝学習を実施する。</li> <li>授業研究を実施し、わかる、考える授業を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学年主体で継続的に実施できたか。(年間)</li> <li>朝学習の取組状況</li> <li>授業公開期間を活用、教科間で参観ができたか。</li> <li>授業が理解できたか、課題等の取組状況(授業アンケート)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学年進行により学習内容を精選し、実施した。(商業、国語、一般常識等)</li> <li>検定試験や就職試験等の対応策として継続的に取り組んだ。</li> <li>84%の生徒が授業を理解し、89%の保護者が授業に満足していると答えている。</li> </ol>	A	<p>&lt;課題&gt;自主的な学習習慣を身に着けさせる意味での朝学習は、学年進行で定着しつつあるが、取組に対して多少の温度差がある。時時に応じた学習方法を提示し、支援する必要がある。</p> <p>&lt;対応策&gt;○資格取得などの高い自己目標を継続して持たせ、科目選択や進路に結びつける。○多くを補習等に頼るのではなく、自ら積極的に学ぶ意欲を持たせ、成果を進路実現に活かせるようにする。</p>
		2 一定水準の検定試験合格で生徒全員に達成感を与えるとともに、より高度な検定、資格にも挑戦させる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>習熟度別授業を活かし、確実な資格取得を目指す。</li> <li>高大連携による高度な資格取得を進める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>奨励級の検定試験等の資格取得状況(100%)</li> <li>検定試験前の補習実施状況(欠点者対象補習等の充実(組織的対応、計画性))</li> <li>高度資格に対応する補習授業の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1年生簿記は(商:全商2級、情:全経3級)ほぼ全員目標達成。2年生原価計算(商:64.3%)、会計(商:82.5%)は、習熟度別授業や組織的な補習の成果が出た。</li> <li>Haul-Aプロジェクトを継続実施し、日商簿記1級2名、全経上級3名合格という輝かしい実績が出た。</li> </ol>	A	
3	問題行動は少なく多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っている。挨拶や礼節を重んじる指導を行い、自覚と誇りを持たせ、基本的な生活習慣の確立を徹底させること、部活動に積極的に参加させ、心身ともに充実し、健全な生徒を育てることが課題である。	1 学年や分掌の組織で生徒の規範意識を醸成させる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>組織的な遅刻防止指導を展開する。</li> <li>挨拶や身だしなみ指導を徹底し、生徒の規範意識を高める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>朝学習との連携策(遅刻者数の前年比)や生徒保護者(PTA役員)や生徒(風紀委員)との連携実施ができたか。</li> <li>基本方針に基づいたいじめ防止対策を実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>係が課題を配布し、実施できる学年もあるが、温度差がある。</li> <li>PTA役員との連携実施は難しかったが、種々の学校行事の中で協力をいただき成功に導いた。</li> <li>PTA総会や文書にて方針を徹底、HPでの公開、アンケートを実施。</li> </ol>	A	<p>&lt;課題&gt;生徒の規範意識は大方向上している。欠席や遅刻については、1学期間は非常に少ない。しかし進路決定後や時期によっては登校時間が遅れている現状がある。</p> <p>&lt;対応策&gt;○交通マネーアップについて対策を講じ、組織的に対応している生徒は79%に達している。</p> <p>&lt;対応策&gt;○交通マネーアップについて対策を講じ、組織的に対応している生徒は79%に達している。</p>
		2 部活動を充実させ、成就感、達成感を持たせる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1年生全員の部活動加入を実現する。</li> <li>HPや広報誌を通じ活躍している部活動のPRを強化する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>加入状況(100%)の確認。再加入への呼びかけ(生徒会との連携)</li> <li>活動の満足度(90%以上)県大会以上の出場回数</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>積極的に参加し、満足している生徒は79%に達している。</li> <li>全国、関東レベルを併せ、運動部で9部、文化部で4部が県大会以上に進出した。種々の媒体で広報活動を行った。</li> </ol>	A	<p>&lt;課題&gt;生徒の規範意識は大方向上している。欠席や遅刻については、1学期間は非常に少ない。しかし進路決定後や時期によっては登校時間が遅れている現状がある。</p> <p>&lt;対応策&gt;○交通マネーアップについて対策を講じ、組織的に対応している生徒は79%に達している。</p> <p>&lt;対応策&gt;○交通マネーアップについて対策を講じ、組織的に対応している生徒は79%に達している。</p>
4	雇用情勢が相変わらず厳しい中でも、就職希望者は増加している。約6割が就職希望である。進路意識を高め、適切な進路選択を促し、全員の進路希望を実現させることが課題である。	1 進路ガイダンスを充実させ、早期から生徒の進路意識を高める。	<ol style="list-style-type: none"> <li>外部指導者の講演会や質の高いガイダンスを実施する。</li> <li>生徒や保護者に質の高い進路情報を提供する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>進路ガイダンスの満足度(90%以上)進路情報提供の満足度(90%以上)</li> <li>妥協のない適切な進路選択</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>満足度89%(1,2年生)、3年生89.4%となった。</li> <li>本校の進路情報提供には91%の保護者が満足している。(3年生)</li> <li>マッチのない進路指導やガイダンスの結果、希望通りの進路決定となった。</li> </ol>	A	<p>&lt;課題&gt;求人状況は良好。この状況は続くと思われる。高度な資格取得を活かすため、上級学校へ進学する事の意義や重要性を、多くのガイダンスの中で説明していく事が必要である。</p> <p>&lt;対応策&gt;○新規求人模索、開拓を組織的に行う。○進学支援情報の提供を多くの場面でを行い、有資格者の上級学校への進学をサポートする。</p>
		2 3年生全員の進路決定を保障、支援する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>就職、進学個別指導</li> <li>組織的な求人開拓</li> <li>卒業生との懇談会の実施</li> <li>企業人による面接指導の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>進路決定率(100%)</li> <li>進路指導満足度(90%以上)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>就職者は12月までに内定し、今年度も100%の進路決定となる。</li> <li>保護者は学年を追って生徒の進路適性を理解している。(3年生:93.8%)</li> </ol>	A	

学校関係者評価	実施日 平成27年 2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>志願倍率は全般的に厳しいが、学校から発信するニュースやHPなどを充実させ、積極的に情報発信を継続してもらいたい。多くの中学生や保護者に熊商の魅力が認知される重要なツールであると心得る。地域の産物や祭りなどへの造詣を深めさせ、地域との連携を強化していただきたい。生徒を積極的に派遣し、活躍全般を地域の活力としていきたい。</p> <p>○出前授業は商業科の授業が理解できる内容とする。多くの中学生に商業の魅力をPRする。</p> <p>○課題研究の中で地域連携を強化する。名産物マップの作成など新たな分野で地域との連携を行う。</p> <p>習熟度別学習など多様な学びの機会を、基礎学力向上のために活用してもらいたい。資格取得の状況は、多くの生徒が目標に掲げているレベルまで引き上げられており、目標達成で喜んでいる。多くの実績が自らの進路実現に繋がるよう、引き続き指導を展開して欲しい。</p> <p>○朝学習の定着と、自発的に学習に臨む態度を育成する。</p> <p>○家庭学習時間の確保と習慣づけを確立する。課題や補習等と連携させ、充実した学習環境をつくる。</p> <p>○授業や補習に臨むための積極的な態度や姿勢を育てる。</p> <p>卒業後は実社会に飛び込む生徒が多い。礼節を重んじ、挨拶の徹底を基盤として、生徒の規範意識を醸成させて欲しい。時を守ることを大切にしよう。自ら進んで学習に取り組めるよう、今後は組織的な指導が展開できることを期待したい。</p> <p>○自学自習の精神を大切にし、自ら進んで朝学習に取り組む。</p> <p>○命の大切さや他人を思いやる気持ちを育む。安心安全な学校生活が送れるよう全職員で支援を行う。</p> <p>○部活動の更なる活性化を図り、県大会出場以上の実績を残す。</p> <p>生徒に早期から高い志を持たせ、自己の進路実現につなげてもらいたい。質の高い進路ガイダンスを継続して実施することで、明確な目標設定につながり、進路決定率100%の目標を継続することが出来る。</p> <p>○継続学習の姿勢を育てる。上級学校への進学指導を強化する。</p> <p>○上級資格を進学に結びつけ、納得できる進路指導を展開する。</p> <p>○最新の進路情報提供を行う。</p>

